平成25年2月4日
三井物産株式会社

平成25年3月期第3四半期連結決算（米国基準）ハイライト

（単位：億円）

経営成績	当第3四半期連結累計期間 上半期	当第3四半期連結累計期間 第3四半期	当第3四半期連結累計期間 3Q累計	前年同期	増減額	増減額 比率（%）
収益	23,659	12,106	35,765	39,468	△ 3,703	△ 9.4
売上総利益	3,930	1,813	5,743	6,771	△ 1,028	△ 15.2
その他の収益・費用						
販売費・一般管理費	△ 2,515	△ 1,305	△ 3,820	△ 3,789	△ 31	
貸倒引当金繰入額	△ 72	△ 22	△ 94	△ 88	△ 6	
利息収支	△ 63	77	14	△ 39	53	
受取配当金	464	156	620	514	106	
有価証券売却損益	157	209	366	146	220	
有価証券評価損	△ 184	△ 29	△ 213	△ 220	7	
固定資産処分損益	15	4	19	50	△ 31	
固定資産評価損	△ 2	△ 16	△ 18	△ 52	34	
暖簾減損損失	－	－	－	△ 23	23	
雑損益	△ 127	△ 27	△ 154	55	△ 209	
その他の収益・費用合計	△ 2,327	△ 953	△ 3,280	△ 3,446	166	
法人所得税及び持分法損益前利益	1,603	860	2,463	3,325	△ 862	△ 25.9
法人所得税	△ 776	△ 340	△ 1,116	△ 1,416	300	
持分法損益前利益	827	520	1,347	1,909	△ 562	△ 29.4
持分法損益	973	383	1,356	1,763	△ 407	
非支配持分控除前四半期純利益	1,800	903	2,703	3,672	△ 969	△ 26.4
非支配持分帰属四半期純利益	△ 117	△ 47	△ 164	△ 270	106	
四半期純利益（三井物産㈱に帰属）	1,683	856	2,539	3,402	△ 863	△ 25.4
包括損益（三井物産㈱に帰属）	141	3,195	3,336	1,334	2,002	150.1
営業利益（日本の会計慣行に基づく）	1,343	486	1,829	2,894	△ 1,065	△ 36.8

主な増減要因

【売上総利益】
金属資源：販売数量増加の一方、鉄鉱石価格下落
エネルギー：石炭価格下落、MEPUSA償却負担増
生活産業：旱魃によりMultigrain減益

【販売費・一般管理費】
前年同期と同水準

【貸倒引当金繰入額】
小口の集積
（前年同期 小口の集積）

【利息収支】
Codelco向け融資に係る繰延融資手数料

【受取配当金】
LNGプロジェクトからの配当金増加

【有価証券売却損益】
三国コカ・コーラボトリング、IHHみなし売却益ほか
（前年同期 Multigrain公正価値評価益ほか）

【有価証券評価損】
鉄鋼関連上場株、三井化学ほか
（前年同期 Valepar優先株、Formosa Epitaxyほか）

【固定資産処分損益】
小口の集積
（前年同期 国内遊休土地売却益）

【固定資産評価損】
小口の集積
（前年同期 小口の集積）

【暖簾減損損失】
なし
（前年同期 小口の集積）

【雑損益】
探鉱費用、為替損失ほか
（前年同期 Shark Bay補償金、探鉱費用ほか）

【持分法損益】
減少・Valepar 鉄鉱石価格下落、資産減損
・RRMC 鉄鉱石価格下落、販売数量増
・Collahuasi 販売数量減少
・海外発電事業 時価評価損益悪化
増加・前年同期 TPV Technologyほか投資減損

平成25年3月 連結業績予想

当社は第2四半期連結決算公表時に見直した年間の当期純利益（三井物産（株）に帰属）予想3,100億円を据え置くことと致しました。
エネルギーセグメントが想定より高い進捗となっている一方で、Vale社における減損認識の影響を受けた金属資源セグメントや石油化学品トレーディングを再構築中の化学品セグメント、一過性の為替損失の影響を受けている鉄鋼製品セグメントが弱含んでおり、これらを含む各セグメントの状況を総合的に勘案した結果、3,100億円の年間業績予想を据え置いたものです。

オペレーティング・セグメント情報（※）	＜売上総利益＞ 当3Q累計	前年同期	増減	＜四半期純利益（三井物産㈱に帰属）＞ 当3Q累計	前年同期	増減	主な増減要因
鉄鋼製品	273	326	△ 53	△ 71	74	△ 145	・鉄鋼関連上場株式評価損 ・為替予約の時価評価損
金属資源	1,115	1,584	△ 469	767	1,608	△ 841	・鉄鉱石販売数量増加の一方、価格下落 ・Valepar ニッケル・アルミ資産減損
機械・インフラ	710	670	40	130	180	△ 50	・海外発電事業 デリバティブ時価評価損益悪化 ・前年同期 新造船取引に係る見込損失計上
化学品	462	498	△ 36	△ 29	102	△ 131	・トレーディング不調 ・三井化学株式評価損
エネルギー	1,429	1,672	△ 243	1,200	1,340	△ 140	・原油・ガス生産量増加の一方、石炭価格下落 ・MEPUSA 減価償却費負担増、米国ガス価格下落
生活産業	815	901	△ 86	159	187	△ 28	・三国コカ・コーラボトリング株式売却益 ・Multigrain 旱魃による収穫量減少
次世代・機能推進	339	396	△ 57	85	△ 273	358	・日本ユニシス株式売却益 ・前年同期 TPV Technologyほか投資減損
米州	515	572	△ 57	134	119	15	・MED3000 Group株式売却益
欧州・中東・アフリカ	108	136	△ 28	△ 8	1	△ 9	
アジア・大洋州	74	87	△ 13	228	372	△ 144	・豪州資源子会社業績持分減
合計	5,840	6,842	△ 1,002	2,595	3,710	△ 1,115	
その他及び調整・消去	△ 97	△ 71	△ 26	△ 56	△ 308	252	
連結合計	5,743	6,771	△ 1,028	2,539	3,402	△ 863	

※ 当第3四半期連結累計期間よりオペレーティング・セグメントを変更しています。この変更に伴い、前年同期のオペレーティング・セグメント情報を修正再表示しています。また、当第3四半期連結累計期間より、本部経費のオペレーティング・セグメントへの賦課方法を変更しました。詳細は決算短信の7頁を参照下さい。

財政状態	平成24年12月末	平成24年3月末	増減
総資産	98,254	90,118	8,136
株主資本	28,828	26,413	2,415
有利子負債（現預金等控除後）	28,280	21,428	6,852
ネットDER（倍）	0.98	0.81	0.17

【総資産】
円安による影響に加え、新規及び拡張投資により関連会社に対する投資及び有形固定資産が増加。

【株主資本】
円安に伴う外貨換算調整勘定の改善、及び利益剰余金の積上げにより増加。

キャッシュ・フロー	当3Q累計	前年同期
営業活動	3,637	1,467
投資活動	△ 6,400	△ 3,189
（フリーキャッシュ・フロー）	△ 2,763	△ 1,722
財務活動	1,801	701
換算差額等	266	△ 411
現金・現金同等物の増減額	△ 696	△ 1,432

〈参考〉

主要指標推移	当3Q累計	前年同期
為替（円/米ドル：期中平均）	80.24	78.51
為替（円/豪ドル：期中平均）	82.54	82.72
金利（円TIBOR3M平均）	0.33%	0.34%
金利（米ドルLIBOR3M平均）	0.39%	0.36%
当社連結油価（米ドル/bbl）	$115/bbl	$105/bbl

	平成24年12月末	平成24年3月末
為替（円/米ドル：期末レート）	86.58	82.19
日経平均（期末終値）	10,395.18	10,083.56